

学園だより

温故
創新

義務教育学校 八女市立

上陽北湊学園

JOYO-HOKUZEI compulsory education school

第1号 令和4年4月発行

文責 校長 牛島 俊哉



「みんななかよくしましょう」

「落ち着いた生活をしましょう」

新年度が始まりました。職員も入れ替わりがあり、新しい体制で力を合わせ、子どもたちのために充実した教育活動を行っていきます。

保護者の皆様、地域の皆様、本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

始業式で、「みんななかよくしましょう」「落ち着いた生活をしましょう」ということについて話をしました。そのことについて、説明します。

「みんななかよくしましょう」

子どもたちみんなが、元気に楽しく学校に来てほしいです。そのために、子どもたちの人間関係がうまくいっていることが、とても大切だと考えています。困ったことにぶつかっても、気軽に話ができる人や助け合える人がいれば、困ったことを上手に乗り越えたり「なんとかなるさ。」と前向きに考えたりすることができるかもしれません。そして、困ったことがあったとしても、それが悩みにはならず、めざす目標になることもあるでしょう。

「人の悩みは、すべて人間関係の悩みである」と言い切っている学説もあります。そう言い切っていいかどうかはわかりませんが、人間関係が良好であればたいのことはうまくいこうに思います。本年度も、3つの科(初等科、中等科、高等科)で、あいさつに重きを置いた取組をします。一朝一夕に、良好な人間関係ができるわけではありません。しかしあいさつの取組からはじめて、子どもたちが安心して学校に来て元気に楽しく過ごせるような人間関係をつくっていきたいと考えています。

「落ち着いた生活をしましょう」

思慮深くあることは、なかなか難しいことですが、子どもたちにはぜひそのような力を身につけてほしいと思います。行動することの意味を考えたり行動した後の結果を予想したりすることは、物事を良好な方向に進めるために必要です。また、感情が高ぶった状態やテンションが高い状態で、話し合いをしてもなかなかよい結果は得られません。

タブレットなどの ICT 機器を活用する学習に積極的に取り組んだとしても、土台となるのは、機械にたよらない「静かに人の話を聞いて考える力」「静かに資料を読んで考える力」だと思っています。しっとりとした落ち着きのある学校生活を基盤とし、さらなる学力の向上とよりよい人間関係づくりに取り組んでいきます。

以上のことを、大切にして教育活動を進めていきます。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。